もう片方の翼は、ここにある。
A-IDEA
Innovative projects creation proposal platform

議題１　革新創造戦略の推進について（報告）

（１）官民共同事業の審査結果

（２）2024年度の振り返り

（３）2025年度の取組について

官民共同事業の審査結果

- 今年度は、2025年1月10日(金)～2月7日(金)までの期間で募集した。
- 今回の募集では5件の応募があったが、事務局による審査の結果、採択にいたる提案はなかった。

募集概要

■募集期間
2025年1月10日(金)～2月7日(金) まで

■応募対象
事業主体が「官民共同」のアイディア

■募集方法
（1）A-IDEAの会員へのメールによる周知
（2）A-IDEAへの「NEWS & TOPICS」への掲載により多くの方に応募いただけるよう周知した。

募集結果

■応募件数：５件
応募のあった分野
健康長寿　２件
防災（DX）　１件
スポーツ　１件
その他　１件

■採択件数：０件
事務局審査において、応募されたアイディアは、基本審査項目における採点結果が70点を下回るため、革新事業として採択されるには至らなかった。

もう片方の翼は、ここにある。
A-IDEA
Innovative projects creation proposal platform

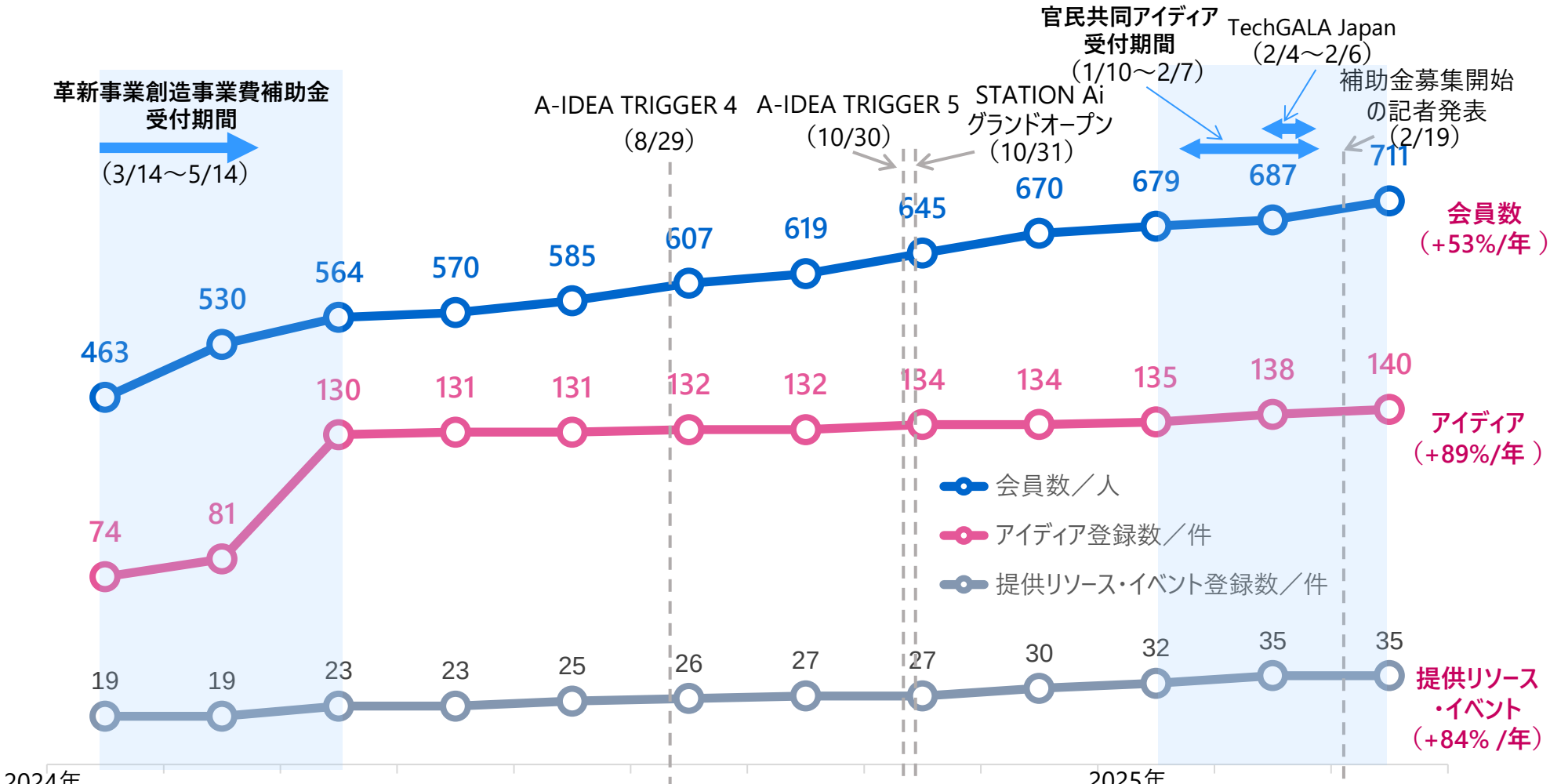
2024年度の振り返り

2024年度の活動スケジュール

マイルストーン		2024年 3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2025年 1	2	3
革新事業創造戦略会議					第1回				第2回					第3回
主なアジェンダ			• 優れた提案の選定（民間主導） • 愛知県が仕掛けるイノベーションシステムの形成 • 革新事業創造戦略のフォローアップについて					• 各イノベーション創出プロジェクトの進捗について（報告） • 革新事業創造戦略のフォローアップについて（協議）				• 革新事業創造戦略の推進について（報告） • 革新事業創造戦略のフォローアップについて（協議）		
プラットフォームの管理・運営・充実													★：配信日	
ア	「利用者の声」、「実績」の掲載		企画				ユーザーアンケート ユーザーヒアリング		採択者 ヒアリング		ページ作成			★
イ	メールマガジンの配信		企画				メルマガ 1回目 ★		メルマガ 2回目 ★		メルマガ 3回目 ★		メルマガ 4回目	★
ウ	運営		アイディア・シーズの募集、マッチング、 支援施策/提供リソース・イベントの登録											
イベントの開催													★：開催日	
プラットフォームの活性化に向けたイベント					第1回企画 ★		第2回・OPイベント企画 ★★				第3回企画			★
外部との連携強化														
名古屋銀行との連携												連携協定 の締結	連携イベント の開催	
革新事業（民間主導プロジェクト）の進捗											★：イベントの登壇機会を提供			
ア	2024年度採択 (革新事業創造事業費補助金で支援)		広報・PR 説明会開催	審査・採択		モニタ リング			★	モニタ リング			モニタ リング	★
イ	2023年度採択							進捗 ヒアリング				進捗 調査		★

2024年度の会員数等の増減

- 会員数、アイディア登録数は、革新事業創造事業費補助金の受付期間中、大幅に増加している。
- また、会員数は、A-IDEA TRIGGER 、STATION Ai開業、TechGALA Japan開催を通じて、順調に増加している。
- 提供リソース・イベントは、会員からイベント周知の依頼に応える機能として活用され、順調に増加している。
- 今後も「TechGALA Japan」やSTATION Ai内のイベントを始め、外部イベント等もうまく活用し、A-IDEAの活性化を図っていく。



プラットフォームの運営・管理・充実

- ○ 2024年度は、サイトへアクセスしたユーザーにA-IDEAの活用メリット等を訴求するため、革新事業採択企業の実績の紹介や、ユーザーの声を掲載した。
- ○ 会員の定期的なアクセスを促進するため、注目のアイディアやイベント等を紹介するメールマガジンの配信を開始。
- ○ A-IDEAのユーザビリティ改善や役立つ機能の追加に向け、会員へのアンケートやヒアリングを実施。

2024年度の実績

■ プロドローン(2022年度採択)・ミライ菜園・大豊工業(2023年度採択)インタビューを行い、プロジェクトのスキームや事業内容を紹介する「実績」ページを新たに作成（2025年３月）。また、ユーザーからの意見を紹介する「利用者の声」ページを新たに作成（2025年３月）。

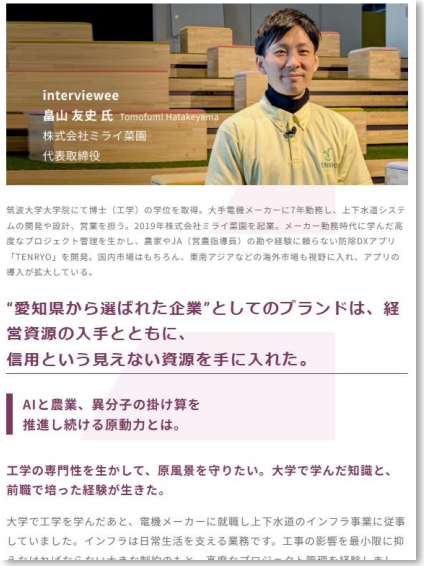
■ メールマガジンの配信実績
①2024年　8月：「Google for Startups「Startup School Aichi」」を始めイベント２件、アイディア１件の紹介
②2024年10月：「STATION Aiオープニングイベント」を始めイベント２件、アイディア１件、シーズ１件の紹介
③2024年12月：「TOIC」の紹介を始め、イベント４件、シーズ４件の紹介
④2025年　2月：「「知の拠点あいち重点研究プロジェクトIV期」最終成果発表会」始めイベント４件、アイディア３件の紹介

■ A-IDEAの会員にアンケート（全会員）やヒアリング（４者）を実施（2024年８～９月）

「実績」ページ

プロドローン

大豊工業



ミライ菜園

「利用者の声」ページ

イベントの開催

- 革新事業創出の機運を高めることを目的に、イベント「A-IDEA TRIGGER」を計3回（8月・10月・3月）開催。また、「STATION Ai」のオープニングイベントの１コンテンツとして、イノベーションプロジェクトに関するステージイベントを開催。
- イベントがきっかけでA-IDEA登録者増に繋がっているが、今後は登録だけにとどまらない活用(アイディアやシーズの登録等)を促していく。
- また、vol. 4 では官民連携への取組んでいる者が、vol. 5 ではオープンイノベーションに取り組んでいる者が多く参加し、各回で設定したテーマに基づき、機運醸成を図ることができた。

A-IDEA TRIGGER

vol.4　2024/8/29

- 「官民連携プロジェクトの創出」に向け、官民連携の機運を高めることを目的に開催。
- 官民連携にどう取り組んでいいのか分からない基礎自治体職員や、官民連携に取り組みたい企業が主たる対象。
- 自治体目線で、官民連携の先行自治体による事例紹介・パネルディスカッションを実施。

参加：現地42名、オンライン32名
@Marubeni Innovation Lab Agora

vol.5　2024/10/30

- SUに限らず、企業の新規事業挑戦のマインド醸成を目的に開催。
- 既存事業が強く、新事業挑戦に向けて、どう取り組んでいいのか分からないような企業が主たる対象。
- 講演「共創から始める新規事業の作り方」と事例紹介、パネルディスカッションを実施。

参加：現地128名、オンライン23名
@ポートメッセなごや

vol.6　2025/3/6

- プラットフォームの活用事例や補助金のPRを目的に開催
- Meet up Chubu（第１部）、名古屋銀行（第２部）とコラボ開催。
- 愛知県の「革新事業創造事業費補助金」の制度概要を説明及び、今年度同補助金に採択された事業者に登壇いただき、採択事業の紹介や進捗等のピッチを実施。

（第２部については次ページに記載）

参加：現地46名　オンライン約20名
@STATION Ai

STATION Ai オープニングイベント　2024/11/1

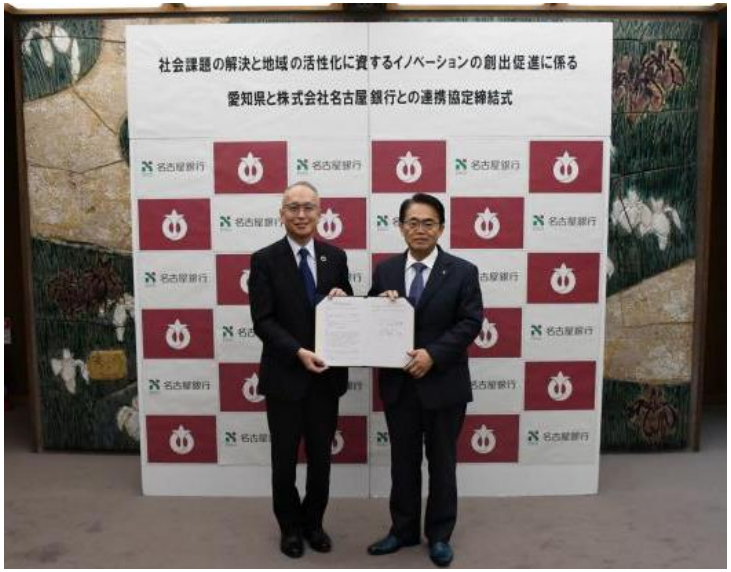
- 『愛知が挑戦する「グローバル・イノベーション都市」への道。』と題して、県の取組やイノベーションプロジェクトの参画事業者によるデモピッチを実施。
- イノベーション・エコシステムの形成に向けた県の取組の理解を促すとともに、プロジェクトに参画する意義や効果を熱量をもって伝え、各イノベーションプロジェクトへの参画イメージを醸成

株式会社名古屋銀行との連携協定の締結

- ○　2025年1月24日に株式会社名古屋銀行と「社会課題の解決と地域の活性化に資するイノベーション創出促進に係る連携協定」を締結。
- ○　本協定に基づく連携事業の第一弾として、3月6日にプロジェクトの社会実装支援を目的としたピッチイベントを共同で開催。
- ○　今後も、県と名古屋銀行による共催イベントの実施やイノベーションプロジェクト参画企業への伴走支援など、緊密な連携を図る。

社会課題の解決と地域の活性化に資する イノベーション創出促進に係る連携協定締結式

協定名	社会課題の解決と地域の活性化に資する イノベーション創出促進に係る連携協定
日時・場所	1/24(金)15:45~16:00　@愛知県公館
内容	○目的 愛知県と株式会社名古屋銀行が緊密に連携し、イノベーションプロジェクトに関する取組を強化することを通じて、当地域における絶え間ないイノベーションの創出を図り、もって社会課題の解決と地域の活性化を実現する。 ○連携事項 ⑴愛知県が推進する社会課題の解決と地域の活性化に資するイノベーションプロジェクトの創出に関すること ⑵イノベーションプロジェクトの社会実装に関すること ⑶その他、イノベーションの促進に関すること



イベントの共同開催

日時・場所	3/6(木)18:00~19:00　@STATION Ai
内容	名古屋銀行主催の「めいぎんイノベーションマッチング」と連携し、イベントを共同で開催 上記協定締結の経緯、イノベーションプロジェクト採択事業者、革新事業補助金採択事業者によるピッチを実施 （参加：現地42名、オンライン11名　@STATION Ai）

【2024年度】革新事業（民間主導プロジェクト）の進捗

- ○　戦略会議において優れた提案に選定された7件を革新事業に採択し、補助金の交付を決定（精算払い：５月支払予定）
- ○　7月、11月、3月にモニタリングを実施したほか、県主催イベントの登壇によるPRの機会を提供

2024年3月14日～5月14日
提案・申請の受付期間
→　55件の応募を受理

2024年6月17日
「2024年度　第1回革新事業創造戦略会議」
→　7件を優れた提案に選定

2024年7月2日
優れた提案に選定された7件を革新事業に採択
→　補助金の交付を決定

モニタリングの実施
- 7月
- 11月
- 3月

イベント登壇機会
- 2024年10月30日 A-IDEA TRIGGER Vol.5　登壇
  - デンソー
- 2025年3月6日 A-IDEA TRIGGER Vol.6　登壇
  - IDEABLE WORKS
  - Acompany
  - Quastella
  - ユーリア

2025年5月末
補助金支払（予定）

2024年度に採択した革新事業（民間主導）一覧　＜五十音順＞

提案者名	プロジェクト概要
株式会社IDEABLE WORKS（京都市）	デジタル化したアート作品を映すことができる高精細デジタル額縁を県内各地に設置し、県内地域を美術館化。
株式会社Acompany（名古屋市西区）	医療機関に蓄積する情報等を、プライバシーテックを用いてAIモデルを構築し、医療データの安全な二次利用を実現。
株式会社Quastella（名古屋市西区）	細胞培養の品質管理について、画像解析・AIを活用したDXプラットフォームを構築することで、品質管理の省人化・効率化・安定化を図る。
株式会社JOYCLE（名古屋市中村区）	幅広い範囲のごみをデータ可視化しながら資源化する分散型インフラを開発・提供し、ゴミを排出する様々な施設に導入。
株式会社スペース（蒲郡市）	企業の空きスペース等を活用した中継拠点の確保・提供や、事業者間の情報連携等を一気通貫で行うプラットフォームを構築。
株式会社デンソー（刈谷市）	精緻な森林内3D情報を作成し、森林施業の省力化・自動化や、正確な炭素固定量を取得することによる、カーボンクレジット市場の創出を図る。
株式会社ユーリア（名古屋市西区）	尿を検査することにより即時に栄養状態を検出するアプリ・キットを用いたサービスを提供。

【2023年度】革新事業（民間主導プロジェクト）の進捗

- ○　2023年度に革新事業に採択し、革新事業創造事業費補助金を交付した民間主導プロジェクト9件について、進捗調査を実施
- ○　試作品が完成したもの（見込み含む）が7件、商品化・サービスローンチができたものが4件あり、1件を除き順調に推移
- ○　プロジェクトを進める上で、販路拡大や認知度向上などが課題として挙げられており、県には販路開拓・マッチング機会の創出支援が期待されている。→3月実施の県主催イベントにおいて登壇機会を提供

2023年度に採択した革新事業（民間主導）一覧　＜五十音順＞

事業者	プロジェクト概要
KUROFUNE㈱ （名古屋市西区）	在日外国人労働者がスマホアプリで利用できるオンライン医療通訳サービスの開発
グランドグリーン㈱ (名古屋市千種区)	認知症予防等に効果のある栄養素を多く含む高機能性作物の開発・生産・販売
㈱SUPWAT (東京都中央区)	製造業の課題解決・効率化を実現するデータ分析・モデリング技術の活用及び生産条件最適化プラットフォームの提供
大豊工業㈱ (豊田市)	高性能膜を組み合わせた独自技術によるメッキ加工処理水の低コスト・低エネルギーな循環システムの構築
Hubbit㈱ (東京都品川区)	軽度認知症者向けコミュニケーション自動化アプリの提供
㈱氷感サプライズ (知多市)	超急速冷凍システム活用の蓄冷材及びIoT温度管理システムを搭載した低温物流向け梱包資材の開発による冷蔵・冷凍トラックを用いない低温物流システムの構築
㈱ヘルスケアシステムズ (名古屋市昭和区)	郵送での糖尿病検査実施及び検査データの機械学習システムによる予防行動パーソナライズサービスの提供
㈱箕浦 (岐阜県安八郡神戸町)	農業分野における温室効果ガス削減・カーボンクレジット創出を実現する稲わら由来のバイオメタン生成技術の開発
㈱ミライ菜園 (名古屋市中村区)	気象データ・病害虫発生履歴から病害虫の発生タイミングをリアルタイムで推定する病害虫予報AIアプリの開発

進捗調査の結果（概要）

○　プロダクト・サービスの試作品は完成したか

完成した	4件
完成見込み	3件
作成中	1件
見込みなし	1件

○　商品化・サービスローンチはしたか

した	4件
していない	5件

○　今後プロジェクトを進めていく上で課題となることはあるか

- 販路開拓
- 事業計画、事業企画の作成と正確性
- 市場への浸透スピード
- 再度の実証実験の予算獲得
- サービス導入先検討や協力企業の集め方

○　プロジェクト推進にあたり支援してほしい取組はあるか（重複あり）

販路開拓・マッチング機会の創出	6件
資金調達等の金銭面の支援	2件
プロジェクトのブラッシュアップ・相談	1件
人材確保・育成	4件
特になし	2件

もう片方の翼は、ここにある。
A-IDEA
Innovative projects creation proposal platform

2025年度の取組について

愛知発のイノベーション創出に取り組みます

予算額　１，２３０，８４２千円

2025 年 1 月 30 日（木）
とりまとめ
経済産業局革新事業創造部イノベーション企画課
戦略企画・運用グループ
内線 ５１８４・５４８８
(ダイヤルイン)052-954-7423

愛知発のイノベーションを創出するため、様々な分野における官民連携によるイノベーションプロジェクトに取り組みます。

革新事業創造戦略推進事業費　１３７，３７５千円

○　革新事業創造提案プラットフォーム「A-IDEA（アイディア）」の運営及び官民共同によるイノベーション創出プロジェクトの具体化の支援
○　STATION Ai への事務局設置や市町村におけるイノベーション創出支援等、当地域のイノベーション・エコシステムの形成を強化（新規）
○　「革新事業創造事業費補助金」による民間主導で行われるイノベーション創出プロジェクトに対する支援

あいち農業イノベーションプロジェクト推進費【農業水産局】　１８０，３４６千円

○　愛知県農業総合試験場とスタートアップ等による新たな共同研究開発の立ち上げに向け技術提案を募集
○　生産現場で課題解決のための新技術の開発と迅速な導入を目指す、現場フィールド活用型のイノベーション創出を推進
○　オープンイノベーションに向けたセミナーやプロジェクトの成果を発信する「あいち農業イノベーションサミット」の開催

あいちデジタルヘルスプロジェクト推進事業費　４１８，０５２千円

○　産学官が参画する「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」を運営し、フレイルへの進行予防、生きがいづくり、地域居住・生活支援を柱とする新たなヘルスケアサービスを創出
○　創出したサービスを県民に提供するポータルサイト及びサービスから得られるデータを利用するデータ連携基盤を整備

あいち環境イノベーションプロジェクト推進費【環境局】　１７６，７１３千円

○　「あいち環境イノベーションプロジェクト」の社会実装に向け伴走支援を実施・加速
○　2025 年 1 月に設立した「あいち環境イノベーションコンソーシアム」において、気候変動関連の新たな先進的取組を創出（新規）

あいちモビリティイノベーションプロジェクト推進事業費　２７６，１７４千円

○　物流用ドローンの社会実装に向けた実現可能性調査及び運営事業者の参入支援
○　ドローンを活用して作成したデジタルマップの災害時の実用化や平時でのビジネス利用を想定した実証実験の実施
○　既存産業から次世代空モビリティ産業への新規参入を促すため、ドローンメーカーと製造業を対象とした共同研究プログラムの実施（新規）
○　空飛ぶクルマ離着陸場の整備に向けた調査等の実施（新規）

あいちスポーツイノベーションプロジェクト推進事業費【スポーツ局】　４２，１８２千円

○　プロジェクトの推進母体となる「あいちスポーツイノベーションコンソーシアム（AiSIA(アイシア)」の運営
○　AiSIA 会員間の連携を通じて、スポーツ産業をささえる人材の育成、アスリート・スポーツチームの価値向上、スポーツと他産業との融合に向けた取組を実施

STATION Ai を中核としたイノベーション・エコシステムのグランドデザイン　～国際的なイノベーション創出拠点の形成にむけて～

○　愛知県では、あいちスタートアップ・エコシステムの形成を目的とする**「Aichi-Startup 戦略」**と、社会課題の解決と地域の活性化を図る官民連携プロジェクトの創出を目的とする**「革新事業創造戦略」**との二つの戦略を**両輪として**、国内外のスタートアップ・エコシステムのネットワークを融合し、愛知県の国際イノベーション都市への飛躍に向けて取り組んでおり、**2024 年 10 月には、国際的なイノベーション創出の中核拠点として STATION Ai を開業した。**

○　2025 年度、愛知県では、**「STATION Ai プロジェクト」**として、国内スタートアップ支援機関等と連携したスタートアップの支援を進める**①スタートアップグロース支援機能**、国境を超えて英知を集める**②グローバル連携支援機能**、社会課題の解決と地域の活性化に取り組む官民連携プロジェクトを進める**③ソーシャルイノベーション創出支援機能**を、STATION Ai 内でそれぞれ始動させ、これら３つの機能を融合させることにより、ここ愛知に**国際的なイノベーション・エコシステムを形成していく。**

・民間提案を起点とした社会課題の解決と地域の活性化を図る官民連携プロジェクトの創出を支援
・デジタルヘルス、スポーツ等の既に立ち上がっているイノベーションプロジェクトの推進を図る

・県が連携する9カ国22の支援機関、大学を中心とする海外スタートアップの STATION Ai 誘引を促進
・海外連携先機関や支援スタートアップ来日時の国内活動支援

③ソーシャルイノベーション創出支援機能

- 環境イノベーションプロジェクト
- スポーツイノベーションプロジェクト
- デジタルヘルスプロジェクト
- 農業イノベーションプロジェクト
- モビリティイノベーションプロジェクト

A-IDEA Innovative projects creation proposal platform

「革新事業創造戦略」

国内パートナー・エコシステム

TiB Tokyo Innovation Base

第１号　東三河スタートアップ推進協議会
第２号　ウェルネスバレー推進協議会
第３号　刈谷イノベーション推進プラットフォーム

東京都との連携

パートナー拠点

STUDIO / Idea Stoa / STATION Ai / 名古屋大学 / なごのキャンバス / TOIC NAGOYA / INNOVATOR'S GARAGE / NALIC / Startup Garage / FUSE / CLUE

インキュベーション施設

②グローバル連携支援機能

9か国、２２の大学やスタートアップ支援機関等と連携

ドイツ
NRW 州
（ノルトライン＝ヴェストファーレン州）

韓国
慶尚南道

フランス
STATION F
INSEAD
オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏
パリ市
Paris & Co
IMT Atlantique
Bpifrance

中国
清華大学 / Tus ホールディングス
上海交通大学
浙江大学

アメリカ
テキサス大学オースティン校
テキサス州
ケンタッキー州
カリフォルニア大学バークレー校
（バークレースカイデック）

シンガポール
シンガポール国立大学

イスラエル
イスラエルイノベーション庁
Start-Up Nation Central

スペイン
マドリード州

ポルトガル
ポルトガル経済省
Startup Portugal

ソフトバンクグループのグローバル拠点

１８大学　２９金融機関
２３５企業　３５団体
６学識者　２２行政機関

地域総合戦略
「Aichi-Startup 戦略」

①スタートアップグロース支援機能

・スタートアップ・エコシステム形成に向け、スタートアップの裾野拡大を促進
・県内外における各地域のスタートアップ支援に取り組む機関・大学等との連携を推進

CENTRAL JAPAN Startup Ecosystem

スタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市

革新事業創造戦略の推進

１　目　　的

2022年12月に策定した**「革新事業創造戦略」**に基づき、**民間提案を起点とした社会課題の解決と地域の活性化を図る官民連携プロジェクトの創出**を目指す。また、**Aichi-Startup戦略と両輪で愛知発のイノベーションを創出**し、世界に輝く国際イノベーション都市への飛躍を図る。

２　事業内容

①　民間からのイノベーション創出に向けた提案を受け付ける**「革新事業創造提案プラットフォーム（愛称：A-IDEA（アイディア））」を運営。**

②　有識者で構成される**「革新事業創造戦略会議」により優れた提案を抽出**し、庁内関係各課で構成する**ワーキンググループにより提案の具体化支援**を実施。

③「革新事業創造事業費補助金」による民間主導で行われるプロジェクトに対する支援を実施。

④ STATION Aiとの連携を強化するため、リアルな拠点として**STATION AiにA-IDEA事務局を設置**し、リアル・バーチャルを融合した拠点形成を図る。

⑤　市町村が抱える社会課題・地域課題を解決するための官民連携プロジェクトの創出を目指すため、**研修・ワークショップ及び社会課題の発掘（見える化）等**を実施し、**県内全域にわたるイノベーション・エコシステムの形成を図る。**

⑥　イノベーションから生み出される**ソリューション・サービスの社会実装を促進**するため、継続的な支援体制の強化を目指した調査・検討を実施。

革新事業創造戦略の枠組み

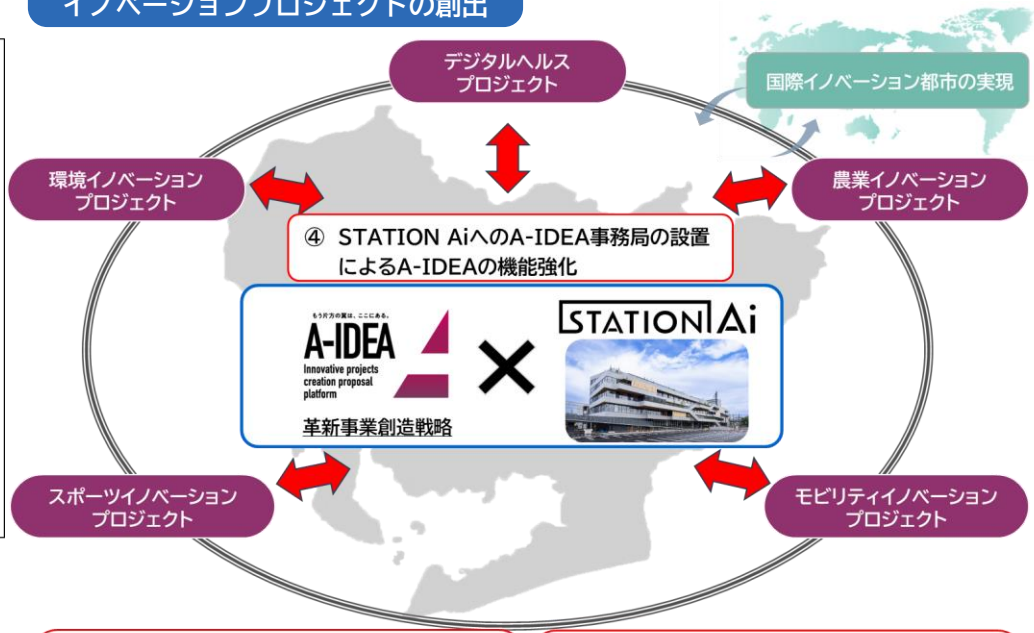
③　革新事業創造事業費補助金

○　補助対象事業
- A-IDEAに提案された民間主導で行われるプロジェクト

○　補助対象事業者
- 企業、大学、研究機関（複数者によるグループも可）

○　補助率及び補助限度額
- 補助率：1/2以内（中小企業は2/3）
- 補助限度額：10,000千円

革新事業創造戦略に基づくイノベーションプロジェクトの創出



⑤ 市町村が抱える社会課題・地域課題を解決するイノベーション創出支援
- 市町村を対象とした研修・ワークショップの開始
- 市町村が抱える社会課題の発掘支援

⑥ イノベーションプロジェクトの社会実装に向けた支援体制の強化
- 資金調達や人材確保等に関する調査の実施
- 社会課題解決に意欲を持つ関係者とのネットワーク構築

あいち農業イノベーションプロジェクトの推進

１　目　　的

担い手の減少や高齢化といった従来からの課題に加え、カーボンニュートラルや新たなサプライチェーンの構築など様々な課題に対応するため、**愛知県農業総合試験場や大学が有する技術、フィールド、ノウハウとスタートアップ等の新しいアイデアや革新的な技術を活用した共同研究体制の強化を図り、新しい農業イノベーションの創出**を目指す。

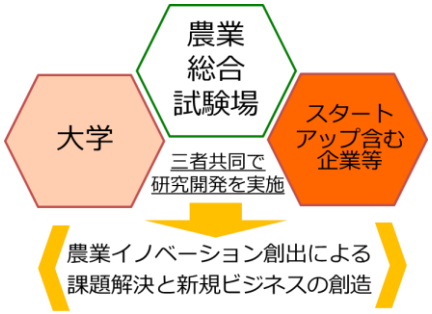
２　事業内容

○　県内の大学、農業団体、国及び県を構成メンバーとする「あいち農業イノベーション研究会」を設置し（2021年12月）、プロジェクトを推進。

○　2022年度に課題解決に向けてスタートアップ等から技術提案を募集し、18課題を選定。2023年度から県農業総合試験場とスタートアップ等による共同研究開発及び成果の社会実装を推進〔研究開発型〕。

○　2024年度から新たに、県普及指導員がスタートアップ等と産地を結び、現場の「ほ場」で新技術の開発と迅速な導入を目指す「現場フィールド活用型」の取組を開始し、５課題を選定。

○　2025年度は、既存の課題について引き続き取組を進めるとともに**新たな共同研究開発や現場フィールド活用型の取組の立ち上げに向け、スタートアップ等から技術提案を募集**。



プロジェクトで取り組んでいる主な課題

スタートアップ等と取り組んでいる課題の概要	スタートアップ等
【研究開発型】	
収穫作業における肉体的な負担軽減のための農業用アシストスーツの開発	株式会社ジェイテクト
湿害による発芽不良を回避することができる大豆の高速播種機の開発	鋤柄農機株式会社
IoTを活用した持続的な茶の高品質生産技術の開発	センスコム合同会社
省力で安価な環境DNA/RNA濃縮・検出技術の実用化と商品化	株式会社ニッポンジーン
スマートフォンで利用可能な大葉のAI病害虫診断技術の開発	株式会社ミライ菜園
企業等から排出される炭酸ガスを活用したイチゴ群落内施用システムの開発	高圧ガス工業株式会社
【現場フィールド活用型】	
キュウリ栽培における安価で使い勝手のよい誘引器具の開発・改良	有限会社杉浦発条

大豆の高速播種機

大葉のAI病害虫診断

経緯及び今後のスケジュール（予定）

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
研究開発型 県農業総合試験場×スタートアップ等	技術提案の募集（18課題）	共同研究開発及び成果の社会実装を推進		新たな技術提案の募集・選定
現場フィールド活用型 県普及指導員×スタートアップ等			技術提案の募集（5課題）→生産現場の課題解決に向けた器具等の開発	新たな技術提案の募集・選定

あいちデジタルヘルスプロジェクトの推進

１　目　　的

超高齢社会の危機の克服に向け、**デジタル技術の活用と産学官の連携により、「健康寿命の延伸」と「QOLの維持・向上」に貢献する各種サービス・ソリューションの創出**を目指す。この取組を通じて、**「誰もが安心して、元気に暮らせるあいち」、研究機関や企業が集積する「健康長寿産業都市あいち」の実現を目指す。**

２　事業内容

産学官からなる**「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」をプロジェクトの推進母体**として、2024年3月に策定した基本計画に基づき、
「１．デジタルヘルス社会実装先行事業」、「２．デジタルヘルス共創促進事業」
「３．デジタルヘルス社会実装・共創基盤構築事業」の３つの取組を実施する。

あいちデジタルヘルスコンソーシアム会員数73団体（2025年1月1日現在）

あいちデジタルヘルスコンソーシアム設立総会（2023年9月）の様子

プロジェクトの３つの取組

１．デジタルヘルス社会実装先行事業（新サービス等の実証・実装支援）

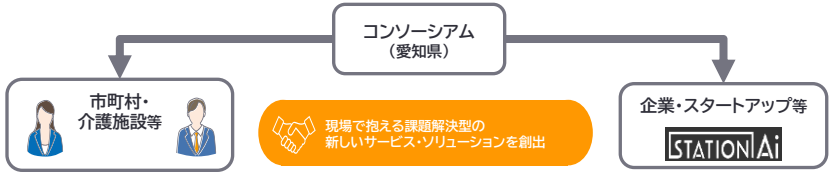
基本計画で掲げる取組の**３つの柱**に基づき、**早期に社会実装を目指す７つのテーマ**について、産学官連携による**新サービス等の創出プロジェクトの実証実験・社会実装を支援**

＜取組の３つの柱＞	＜社会実装を図る取組テーマ＞
柱①：フレイルへの進行予防	1. ライフログデータを活用した総合的な高齢者支援 2. PHRを活用した予防運動プログラム 3. デジタル食事改善プログラム
柱②：生きがいづくり	4. オンラインを活用した高齢者の社会的交流支援 5. 独居フレイル高齢者向けの外出・交流支援
柱③：地域居住・生活支援	6. 音声対話ツールを活用した高齢者のICTへのアクセシビリティ向上 7. 対話型ツールを用いた健康・生活機能の持続的なモニタリング

２．デジタルヘルス共創促進事業（新サービス等の創出支援）

「1.デジタルヘルス社会実装先行事業」に続く**様々なサービスを創出する仕組みを構築**

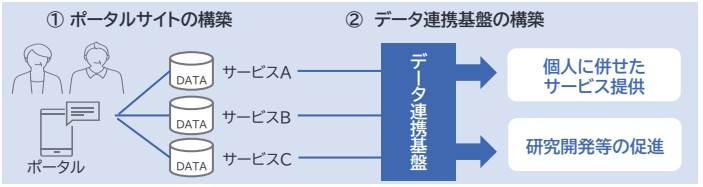
①新サービスの創出支援（３つのテーマ）
②コンソーシアムの運営を通じた支援



３．デジタルヘルス社会実装・共創基盤構築事業（ポータルサイト・データ連携基盤の整備）

創出したサービスの県民への提供や、県民のライフログデータを活用した新たな価値創出を目指すため、

- 各サービスの県民への提供窓口となる、ポータルサイトの設計・構築
- 得られた県民のライフログデータ等の各種データを活用し、個人の健康状態に合わせた適切なサービス提供や、研究開発等による新たな価値の創出



今後のスケジュール（予定）

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
１．デジタルヘルス社会実装先行事業	・早期に社会実装を目指す７つのテーマに取り組む民間企業等への支援			
２．デジタルヘルス共創促進事業	・新サービスの創出支援、あいちデジタルヘルスコンソーシアムの運営			
３．デジタルヘルス社会実装・共創基盤構築事業	・ポータルサイト・データ連携基盤に関する各種調査・検討	ポータルサイト・データ連携基盤の設計・構築	試験運用（一部県民の実施利用）	本格運用（全県民の利用開始）

あいち環境イノベーションプロジェクトの推進

１　目　　的

カーボンニュートラル（CN）の実現やサーキュラーエコノミー（CE）への転換、ネイチャーポジティブ（NP）の達成といった**環境課題の解決に向けて**、産学官金の連携の下、**愛知発の環境イノベーションの創出・実装を目指す。**

２　事業内容

「あいち環境イノベーションコンソーシアム」を推進母体として、**採択プロジェクトの伴走支援・実証実験、企業連携による新たな先進的プロジェクトの創出**などの取組を実施

連携促進交流会（2024.10.22開催）

取組概要

①採択プロジェクト伴走支援・実証実験

企業とのマッチング支援や実証フィールドの提供・紹介といった伴走支援を行うとともに、試験機や試作品等を製作し実際の現場に導入して、適切な条件や手順を検証する実証実験を実施し、最適な事業スキームを構築

採択プロジェクト	CN	1.熱を直接電気に変換する熱電発電システム実装プロジェクト
		2.次世代型バイオガス発電システム導入プロジェクト
		3.海面最終処分場CO_2の回収・固定化プロジェクト
		4.県民の環境行動に伴うCO_2削減量の見える化プロジェクト
	CE	5.リサイクル困難なプラスチックリサイクルプロジェクト
		6.100％植物廃棄物由来内装材製造・リメイクプロジェクト
		7.使用済み紙おむつマテリアルリサイクルプロジェクト
	NP	8.ドローン・AIによる森林モニタリングシステム構築プロジェクト

②最先端のシーズ・企業ニーズの情報発信

スタートアップ等が有する革新的な技術を紹介するピッチイベントや、企業の環境課題やニーズを発表するリバースピッチを開催

③企業連携による新たな先進的プロジェクトの創出

革新的な技術・アイデアを有するスタートアップ等から提案を募集し、コンソーシアム参加企業等とのコラボレーションにより事業化が期待されるプロジェクトを採択

④会員の連携促進・情報交換

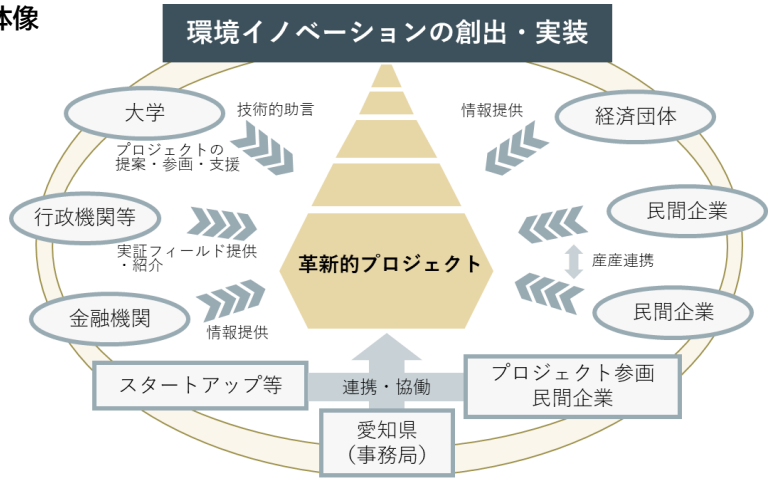
コンソーシアムの関係者が一堂に会してネットワークの形成や情報共有を行う連携促進交流会を開催

コンソーシアム概要

○設立日
2025年１月31日

○参画団体
51団体（民間企業、大学、金融機関、行政機関、採択スタートアップ等、経済団体など）

○全体像



事業スケジュール（予定）

	2024年度	2025年度	2026年度～
①	公募 → 審査・採択 → 採択プロジェクト伴走支援・実証実験（2027年３月まで）		→ 順次社会実装
②	コンソ設立 →	最先端のシーズ・企業ニーズの情報発信	
③		公募 → 審査・採択 → 新規プロジェクト創出・実証実験（伴走支援含む）	公募 → 審査・採択 → 新規プロジェクト創出
④		連携促進交流会	連携促進交流会

１　目　的

○　ドローン・空飛ぶクルマ・自動運転車が同時に安全に制御され、**人やモノの移動に「境界」がなくなった新しいモビリティ社会の構築**を図る。

○　新しいモビリティ社会の実現に向けた**革新的ビジネスモデルの創出を図り、その社会実装を通じて社会課題（物流クライシス、人の移動の多様化・最適化、災害対応）を解決**する。

○　自動車・航空宇宙産業の世界的な集積地である強みを生かし、**次世代空モビリティの基幹産業化**を図る。

２　事業内容

○ 2023年度に策定した「推進プラン」に基づき、以下の取組を進める。

（1）　**ローンチモデルの実装に向けた取組**

- 物流用ドローンの社会実装に向けた実現可能性調査及び運営事業者の参入支援
- デジタルマップの災害時の利活用や平時でのビジネス利用を想定した実証実験の実施
- 空飛ぶクルマ離着陸場等整備に向けた調査等の実施

（2）　**次世代空モビリティの基幹産業化に向けた共同研究プログラムの実施**

（3）　**次世代空モビリティの社会受容性向上に向けた普及啓発**

＜プロジェクトの推進体制＞

愛知県、民間事業者６社※で連携協定を締結するとともに、プロジェクトチームを設置（2023年５月）

※ ㈱プロドローン、㈱ジェイテクト、名古屋鉄道㈱、㈱ＳｋｙＤｒｉｖｅ、㈱テラ・ラボ、ＶＦＲ㈱

プロジェクトの目指す姿

革新的ビジネスモデルの創出・横展開により、次世代モビリティの需要を拡大
その需要を愛知県に取り込み、産業拠点としての機能強化を図る好循環を実現

柱１　空と道がつながる新しいモビリティ社会の実現（需要の創出）

革新的ビジネスモデルの国内外への横展開による需要の拡大

好循環を創出

柱２　次世代空モビリティ産業の基幹産業化（供給力の強化）

国内外の需要を愛知県内に取り込み、産業拠点としての機能を強化

ローンチモデル

「物流」、「人流」、「災害対応」の３分野で、2026年度頃に早期の社会実装を目指すローンチモデルを設定

物流	河川流域や本州離島間を航路とした高ペイロードドローンによる物流サービス
人流	限定されたエリアでの空飛ぶクルマによる遊覧飛行
災害対応	災害時：デジタルマップを活用した被災地の情報収集 平　時：デジタルマップを活用した各種サービス（インフラ点検等）の実施

【画像提供】株式会社プロドローン

【画像提供】株式会社SkyDrive

【写真提供】株式会社テララボ

今後のスケジュール（予定）

2024年度	2025年度
ローンチモデル実現に向けた体制構築や事業化調査・環境整備	ローンチモデル実現に向けた事業化調査・環境整備
次世代空モビリティの基幹産業化に向けた調査	次世代空モビリティの基幹産業化に向けた共同研究プログラム
メッセナゴヤ2024及び県内地域イベント出展による普及啓発	各種イベント出展等を通じた普及啓発

あいちスポーツイノベーションプロジェクトの推進

１　目　　的

愛知国際アリーナ開業、アジア・アジアパラ競技大会を始めとする国際スポーツ大会の開催などを起爆剤として、産学官等の連携により、スポーツ分野のイノベーションを推進し、革新的な事業・新サービスの創出や県内外への展開に取り組むことで、スポーツの成長産業化及びスポーツを通じた地域活性化を目指す。

２　事業内容

（１）コンソーシアムの運営
・最新技術・動向・事例等を紹介するとともに、会員間の交流を促進し、自発的なオープンイノベーションを創出

（２）スポーツマネジメント人材の育成
・スポーツ産業を支える人材育成を目的として、大学生等を対象とした講演会・ワークショップを開催

（３）スポーツの課題解決共創モデル事業
・集客等スポーツチーム共通の課題解決に向け、事業・サービス等の提案を公募・選定し、実証・実装を支援

（４）スポーツと他産業による地域課題解決共創モデル事業
・スポーツと他産業との融合により、地域課題の解決や地域活性化を図る取組を公募・選定し、モデル事業として実施

愛知国際アリーナ（ＩＧアリーナ）開業

アジア・アジアパラ競技大会開催

コンソーシアムの概要

プロジェクトの推進母体として、2024年6月11日に「あいちスポーツイノベーションコンソーシアムAiSIA（アイシア）」を設立

参画団体：スポーツチーム・競技団体・企業・大学・行政機関等 計91団体が参画（2025年1月現在）

会　　長：愛知県知事

事 務 局：㈱中日新聞社、愛知県スポーツ局スポーツ振興課

Aichi Sports Innovation Axle
コンソーシアムのロゴマーク

設立総会の様子

コンソーシアムの取組

コンソーシアムでは、メンバー相互間で連携しながら、愛知県のスポーツから新たなイノベーションを巻き起こしていくために、3つの柱を推進する（表の下線部を県が予算化）。

	柱1 スポーツ産業をささえる人材の育成	柱2 アスリート･スポーツチームの価値向上	柱3 スポーツと他産業との融合
概要	マネジメント人材、スポーツ産業の高度化を担う人材の育成	スポーツ事業の高付加価値化、スポーツのブランド化	オープンイノベーションを通じた他産業の高付加価値化、スポーツを通じた地域課題の解決
主な取組	○ 各大学が行うスポーツマネジメント人材育成の取組 ○ スポーツチーム等と連携し、大学生等を対象とした講演会･ワークショップを開催	○ マラソン大会等において、障害者向けの参加コンテンツを実証 ○ スポーツチーム共通の課題解決に向け、事業・サービス等の提案を公募・選定し、実証・実装を支援	○ スポーツテックコンテンツを活用し、県民がスポーツにふれる機会を幅広く創出 ○ 企業等から地域課題の解決や地域活性化を図る取組を公募・選定し、モデル事業として実施

事業スケジュール（予定）

2024年度	2025年度以降
【柱1】スポーツビジネス講座	講座（スポーツチームと連携し、試合会場等で学習成果を発表・実践）
【柱2】スポーツの課題解決共創モデル事業（公募・選定・実証）	公募・選定・実証 実装に向けた支援
【柱3】スポーツと他産業による地域課題解決共創モデル事業（公募・選定・実施）	STATION Ai等と連携し、公募・選定・実施 他地域への展開

【2025年度】革新事業（民間主導プロジェクト）の進め方

◦ 審査を希望するプロジェクトの募集は3月24日から4月25日まで実施（2月19日から周知を開始）
◦ 5月中に事務局による書類審査を実施し、プレゼン審査（戦略会議）を6月に実施予定。
◦ 戦略会議における委員からの意見を踏まえ、より効果的な審査となるよう、審査の運用方法を一部変更する。

スケジュール

2月19日（水）	周知開始（記者発表） • 3月6日実施　A-IDEA TRIGGER Vol.6においてPRを実施 • その他、メールマガジン等、あらゆるチャネルを使って周知を実施
3月24日（月）	募集開始
4月25日（金） 午後5時	募集締切
締切後～5月末頃	書類審査 • 審査に合わせて疑義や不明点をヒアリングを実施
6月	革新事業創造戦略会議でのプレゼン審査
7月	「革新事業」に採択するプロジェクトの決定

2025年度の運用方法（主な変更点）

◆　プレゼンテーション

- 応募者は書類審査用資料とは別にプレゼン審査用資料を作成。
- プレゼン審査用資料の様式等は指定せず、事業者の創意工夫とするが、評価ポイント等についてはあらかじめ事務局から示す。
- プレゼンと質疑応答の持ち時間は変更しないが、効率的な質疑の手法など、運用方法を工夫することで、円滑・効果的に実施する。

  ※　事務局の改正案ではプレゼン時間を短縮する案を提示したが、応募内容の把握に不十分との委員意見を踏まえ、再検討した。
- 類似事例等の調査や応募者への問い合わせを事務局において行い、まとめた資料をプレゼン審査時に委員へ提供する。

◆　審査基準

- 革新性、必要性、共創性、実現性、インパクトの５つの評価項目ごとの配点を、書類審査・プレゼン審査それぞれ別に設定

◆　採点

- 各者の採点を委員ごとに順位付けし、順位に紐付くポイントを用いて優れた提案の選定を行う（順位点方式）。